

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立熊谷農業高等学校)

目指す学校像	命を育み知を磨く学舎づくり (農業各分野の担い手・技術者と、地域を担う人材の育成)
重点目標	1 基本的生活習慣の確立 2 基礎学力の定着を図る学習指導の充実 3 希望進路実現を図る指導の充実 4 開かれた学校づくりの推進

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	8名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)	
年度目標					年度評価(2月1日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	継続的な指導により頭髪・服装違反、遅刻者は減少している。引き続き、基本的生活習慣を確立し、主体的に高校生活を送らせるために、徹底した継続指導を行う。自転車運転のマナー違反も見られる。 そして、社会的秩序を保ち、マナーや他者への配慮を考え行動できる生徒を育成する。	1 時間厳守の徹底と自己管理能力の向上 2 特別な支援を必要とする生徒への組織的な対応	1-1 登校遅刻、授業遅刻を減らすため、遅刻入室カードを利用し、授業規律の確保とSHR実施を徹底する。 1-2 正しい服装での学校生活(女子のスカート丈・自転車安全講習会による安全指導)と私物管理を徹底させる。服装指導、立哨指導等を行う。 2 特別な支援を必要とする生徒の情報共有し組織づくり等、的確な対応をする。北部教育事務所を窓口にしてSCやSSWの活用を促進する。	1-1 基本的生活習慣が身につく、遅刻者の減少が見られたか。 1-2 服装・頭髪違反が減り、教室等の私物管理ができたか。傘差しなどの危険運転がなくなったか。 2 生徒に対する情報の共有がなされ、特別な指導を必要とする生徒に的確な対応ができたか。SCの活用年間10回。必要に応じてSSWも活用する	1-1 継続的な指導と遅刻カードの導入により、遅刻指導を受ける生徒は減少した。基本的生活習慣の確立に向けて、生徒指導部による巡回指導と担任外の職員との校門指導を合わせて実施している。授業遅刻は学年団の職員で対応している。適切に対応している。 1-2 生徒指導件数は5件。 2 スクールカウンセラーによる教育相談を10回実施。SCや特別支援コーディネーター、当該担任や学年主任で生徒情報を共有し、生徒に対し適切に対応している。	A B
2	欠点保有者が増加傾向にあり、追認定で欠点を解消できない生徒がみられる。そのため、基礎学力の定着と学力向上を目指した学習指導を継続的に実施する。 また、資格取得をととして目的意識を持たせ、学習習慣の定着を図る。	1 成績不振者の減少と学習習慣および基礎学力の定着にむけた指導の充実 2 授業の工夫・改善	1-1 授業規律の徹底を図り、生徒表彰、資格取得を通して学習意欲を向上させる。資格の日程をHP・メール等でお知らせする。 1-2 各学習単元の重点ポイントを理解させ、個別指導により追考査の合格率を上げる。 1-3 学びの基礎診断を年2回実施する。 2-1 公開授業週間、授業評価を充実させ、授業力向上を図る。 2-2 農業クラブ活動をはじめ、生徒会行事、部活動をより活性化させる。	1-1 学年末の成績優秀者や、資格取得に取り組む生徒が昨年と比べて増加したか。保護者宛てに、学校メールを活用する。 1-2 欠点保有者の減少。追考査・追認定試験の合格率が向上したか。 1-3 学びの基礎診断が、学校や生徒の実情に合った測定ツールだったか。 2-1 生徒による授業アンケートの結果、授業への満足度が80%を超えているか。 2-2 学校の活性化に向けて、生徒の各種行事への参加が増加したか。	1-1 1学期の成績優良者は42名、2学期は39名でした。 1-2 欠点保有者は昨年2学期比較すると17名減少したが、欠点数は8%増加した。追考査の合格数は昨年とほぼ同数だったが、合格率は7%減少した。 1-3 到達度テストを実施したが、十分な活用ができなかった。 2-1 生徒の授業アンケートの結果、授業の満足度は普通科目81%、専門科目90%であった。 2-2 農業クラブ関東大会へプロジェクト発表1チーム出場、全国大会(農業鑑定競技)食品科学の部で、埼玉県内で唯一、優秀賞受賞。家畜審査乳牛の部、豚の部ともに最優秀賞1名、優秀賞3名受賞。陸上部、剣道部、女子バレーボール部県大会出場。書道部：学芸書道全国展「優秀団体賞」受賞。写真部：関東地区高校写真展へ出品。	B A
3	大学への進学希望者は減少傾向にあるが、多くが第1志望の進学先に合格している。 自己理解を深め、希望する進路実現に向けた行動力を身につけさせるため、進路指導体制の充実を図る。	1 進路活動の充実と進路保証	1-1 進路ガイダンスを充実させ、継続的進路指導の導入やネット求人、進路のしおりを積極的に活用する。 1-2 各学年に応じて、生徒が主体的に取り組むための指導や、就職支援アドバイザーによる面接練習、小論文指導等の充実を図る。 1-3 地域関係事業所と連携し、県事業の「実践的職業教育グローバル事業」「次代を担う産業人材イノベーション事業」等を実施する。	1-1 進学・就職希望者決定率が向上したか。ガイダンスの満足度70%以上。 1-2 進学希望者と就職希望者の進路実現ができたか。進路未定者を減らすことができたか。 1-3 県事業を計画的に実施し、農業の専門性を生かした希望進路の実現ができたか。	1-1 就職の内定率については99%、就職希望者数については昨年0.8倍となっている。 1-2 進学・就職希望者に対して就職支援アドバイザーによる面接指導または小論文指導等を実施し、進路決定者は207名であった。1-3 生産力育成分野におけるスペシャリストの招聘、「時代を担うイノベーション事業」により、専門分野における学びの機会を確保した。また、埼玉農業フロンティア育成事業に3名の生徒が参加した。埼玉県農業大学校に5名、群馬県の農業専門学校に2名進学予定。	B
4	報道機関を活用して熊農祭、学校説明会など本校の特色ある教育活動を積極的に情報発信している。 県事業を活用した特色のある教育活動を展開し、中学生や保護者をはじめとする地域社会と連携を深め、開かれた学校づくりをさらに推進する。	1 広報活動のさらなる充実 2 生徒募集活動のさらなる充実と募集定員の確保	1-1 各種フェスタ等に積極的に参加。各行事・部活動等の活躍を発信する。 1-2 中央実習棟内の販売所やアイスクリームプラントを活用し、農業の6次産業化事業を推進させ特色ある教育活動を展開し地域に貢献する。 2-1 学校説明会、一日体験入学、中学校訪問等を計画的・効果的に行う。 2-2 学校評議員会、学校評価懇話会を各学期に1回、年3回開催する。	1-1 ネットコモンズを活用し、HPで生徒の活躍をPRできたか。 1-2 保護者や地域住民の来校者数が増えたか。 2-1 最終倍率の状況が1.0倍以上かつ募集定員を確保できたか。 2-2 学校評議員会、学校評価懇話会における意見を、学校改善に活用することができたか。	1-1 ふかや花フェスタに参加し、深谷市議会議長賞受賞、くまがやエコライフフェア等に参加。また、「頑張る熊農生」の発行により、生徒の活躍をPRできている。メール配信による情報提供を行ったが、昨年度より頻度は少なかった。 1-2 日本赤十字献血センターと連携「くまのうあいす」を提供。月曜日の献血者に好評で、熊農をPRできている。 2-1 学校説明会の参加人数は、2回併せて553名(昨年とほぼ同数)、1日体験入学の参加人数は611名(昨年比16名増)であった。12月15日、報道発表進路希望状況は全体で1.0倍。 2-2 学校評議員会及び学校評価懇話会は順調に開催できている。	B B

学校関係者評価
実施日 令和2年2月3日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣やマナー等の指導は、継続していくことで効果が出るので、引き続き学校全体で指導をお願いしたい。お願いしたい 生徒指導件数も減少傾向にあり、生徒は落ち着いて生活している。 SCやSSWの活用については、回数や内容を検討して生徒に寄り添う指導をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着には、授業改善の他に生徒自身の取り組み姿勢が必要である。 家庭学習の習を身につけさせるため、保護者と協力して学習環境づくりをし、基礎学力の向上につなげてほしい。 学びの基礎診断の内容を学校の実情にあったものとし活用してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部を中心に計画的系統的な進学指導を行い、大学進学者数を増やしてほしい。 農林部と連携した事業農業に対する意識の高い生徒を参加させ、新規就農を考える生徒をサポートしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ホームページや学校だよりを活用し、学校のPRを積極的に進めてほしい。 12月現在の数値ではあるが、進路希望状況は全体で1.0倍。最終的な志願状況はこれからなので、頑張ってもらいたい。